

BLUESOUND

NODE

ワイヤレス・ミュージック・ストリーマー



取扱説明書

v. N130

#LIVINGHIFI へようこそ

このたびは NODE をお買い上げいただきありがとうございます。NODE は、ハイレゾ対応マルチルーム・オーディオプレーヤーの金字塔であり、あらゆるアンプやアクティブスピーカーと連携して、ハイレゾ音楽の楽しさを日常生活に便利に取り入れられるネットワーク・ミュージック・ストリーマーです。

ハイファイの世界を解き放つ。NODE は、どんなアンプ搭載ステレオシステムにも簡単に接続できる究極の HiFi ストリーマーで、オーディオストリーミングの世界を発見することができます。熱烈なオーディオファイルを満足させるすべての入力と出力を備えた NODE は、あなたのシステムをこれまでに録音されたすべての音楽に接続します。

ハイファイを Wi-Fi で。強化されたデュアルバンド Wi-Fi は、混雑エリアでもクラス最高のパフォーマンスを発揮します。Bluetooth のパフォーマンスは、最先端の aptX HD により、デバイスから直接 24 ビットのストリーミングをサポートし、スタジオ品質の音楽を NODE から Bluetooth ヘッドフォンに送信することができます。また、内蔵の AirPlay2 により、Apple のエコシステムに簡単に統合することができます。もちろん、プレミアム DAC デザインにより、何を、どのようにストリーミングするかに関わらず、NODE はオーディオファイル・グレードの音質で聴くことができます。

どこからでも、どこへでも。BluOS Controller アプリを使って、NODE を家中の複数の Bluesound スピーカーにシームレスに接続し、これまでにない直感的なマルチルーム・ミュージックシステムを構築できます。NODE は、BluOS アプリを搭載したスマートデバイス、コンピューター、プリセット付きのタッチパネル・コントロール、または独自の IR リモコンをプログラミングすることで、これまで以上に簡単にコントロールすることができます。また、NODE をスマートホーム・コントロールシステムに組み込んで、プレミアムなホームオーディオの統合を実現することもできます。

この取扱説明書では、NODE とその機能の概要について説明しています。また、トラブルシューティングのヒントやコツも記載されています。NODE に同梱されているクイックセットアップガイドは、NODE をネットワークに接続して音楽を聴くための準備をするのに役立ちます。

その他のヘルプや情報が必要な場合は、support.bluesound.com をご覧いただくか、以下のアドレスからお問い合わせください。 <https://pdn.co.jp/support.html>

付属品



RCA-RCAピンケーブル



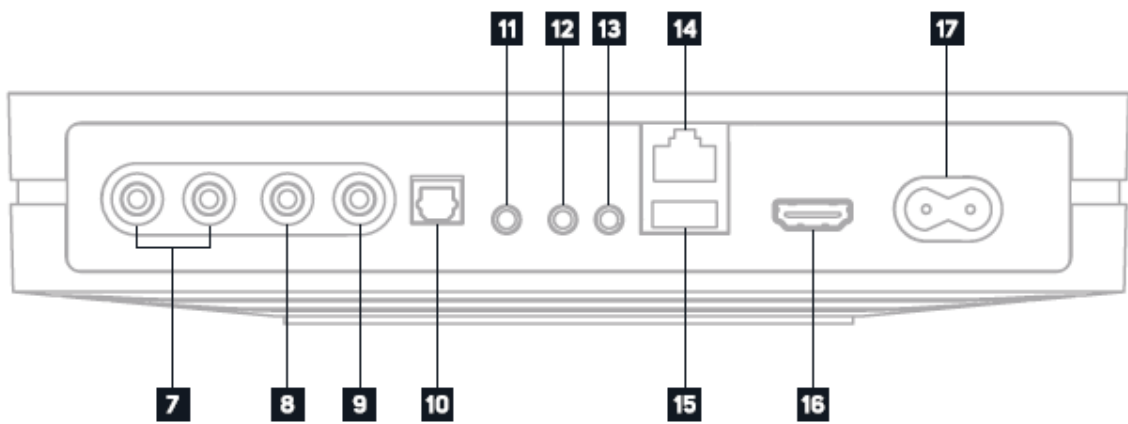
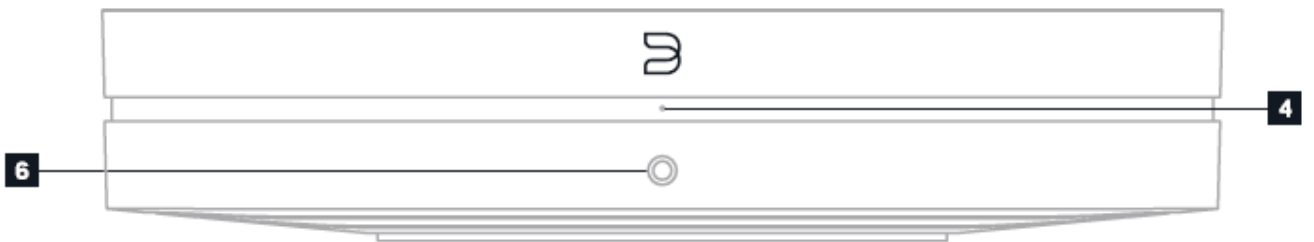
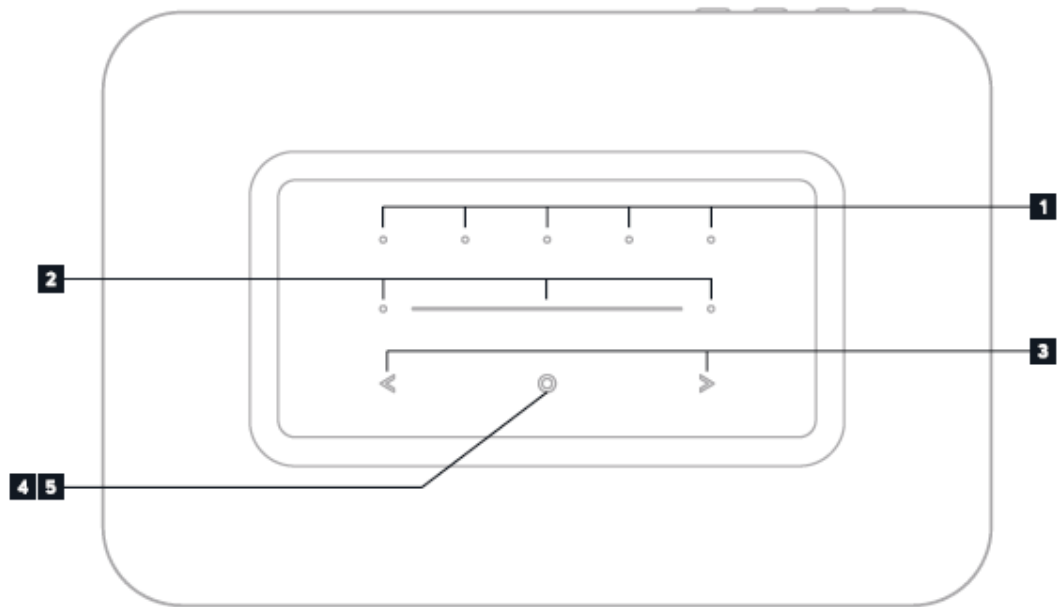
電源コード



トスリンクミニプラグアダプター



イーサネットケーブル



- 1 **プリセット** NODEにはプログラム可能な5つのプリセットボタンがあります。これらのプリセットは、BluOSアプリのプリセットのメニューを使用して設定します。
- 2 **ボリュームスライダー／タップ** スライダーを使用してボリュームレベルを変更します。スライダーの両端にあるボタンをタップすると、1db 間隔で音量レベルが変化します。もしくは調整したい方向にスライダーをタップすると、3db 間隔で音量レベルが変化します。これらのタップ方法で、音量を微調整することができます。
- 3 **スキップ** これらのボタンは、現在の再生キューの中で、前の曲に戻ったり◀、次の曲にスキップしたり▶することができます。
- 4 **ステータスインジケータ** 以下は、LED の点滅コードとその説明です。

LED 点滅コード	状態説明
短い青の点滅、その後赤点灯	電源投入、本体の再起動
緑の点灯	ホットスポット・モード
緑の点滅	ネットワークへの接続試行中
白の点滅	利用可能なソフトウェア・アップデートがあります
赤色点灯	アップグレード・モード
赤と緑が交互に点滅	アップグレード中
青の点滅	ミュート・モード
白点灯	インデックス作成中
青色点灯	ネットワークに接続済み - BluOS アプリの使用が可能
赤の点滅	ファクトリーリセット処理中
紫の点灯	ホットスポット・モードがタイムアウト

- 5 **再生／一時停止ボタン** このボタンは、ネットワーク接続の視覚的インジケータと再生／一時停止ボタンという複数の機能を持っています。LED の点滅コードについては、4番 - 点滅コードを参照してください。グループ化されていないプレーヤーの場合、このボタンを押すと ストリームの再生／一時停止ができます。インターネットラジオを聴いている場合、一時停止機能は 30 秒間働きます。この時点でバッファがいっぱいになり、ストリームが停止します。プレーヤーがグループ化されている場合、再生／一時停止ボタンを押すと、そのプレーヤーはミュートされます。他のプレーヤーがストリームを継続している間、そのプレーヤーはミュートされます。ミュート中はプレーヤーの LED が青く点滅します。また、このボタンは ファクトリーリセット機能にも使用します。後述のファクトリーリセットの手順をご参照ください。
- 6 **ヘッドホンジャック** NODE の前面に 3.5mm ヘッドフォン・ジャックがあります。
- 7 **アナログ出力(AUDIO OUT)** アンプ、レシーバー、ステレオシステム、アクティブスピーカーの対応するアナログオーディオ入力に接続してください。アナログオーディオアウトで接続すると、NODE 内部 DAC が使用されます。
- 8 **サブウーファー出力(SUBW OUT)** サブウーファーを NODE に直接接続することができます。サブウーファー出力は、パワード(アクティブ)サブウーファーに接続します。

- 9 同軸デジタル出力(COAX OUT)** 同軸ケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE の同軸デジタル出力に、もう一方の端をレシーバー、コンピューターのサウンドカード、デジタルプロセッサなどの互換性のあるデバイスの対応する同軸デジタル入力に接続します。同軸デジタル出力で接続すると、NODE の内部 DAC がバイパスされます。
- 10 光デジタル出力(OPTICAL OUT)** デジタル光ケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE の光デジタル出力に、もう一方の端をレシーバー、コンピューターのサウンドカード、デジタルプロセッサなどの互換性のあるデバイスの対応する光デジタル入力に接続します。光デジタル出力で接続すると、NODE の内部 DAC がバイパスされます。
- 11 光デジタル入力/アナログ入力(OPTICAL IN/ANALOG IN)** 3.5mm ステレオオーディオケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE のアナログ入力に、もう一方の端を他の互換性のあるデバイスの対応するアナログ出力に接続します。BluOS アプリには「アナログ入力」として表示されます。3.5mm ミニジャックからトスリンクへ付属アダプターを使用して、光デジタルソースを追加することもできます。この場合、BluOS アプリでは「光入力」として表示されます。
- 12 トリガー出力(TRIGGER OUT)** トリガー出力は、DC12V の信号を出力することができます。DC12V の信号は、3.5mm モノラルオーディオケーブルを使用して、対応する 12V トリガー入力を備えた外部機器の制御や起動に使用できます。
- 13 IR 入力(IR IN)** 赤外線エクステンダーを接続して、フロントパネルの赤外線センサーが見えない場所に NODE を設置した場合に、プログラム可能な学習リモコンで音量やソースの選択をコントロールすることができます。
- 14 LAN 端子(LAN)** 付属のイーサネットケーブルで有線 LAN 接続ができます。NODE はルーターに Wi-Fi ネットワークに接続できるため、この接続はオプションです。LAN 端子を使用して NODE をセットアップするには、有線のイーサネット接続が必要です。付属のイーサネットケーブルを使用して、一方の端を 有線イーサネット・ブロードバンドルーターの LAN 端子に、もう一方の端を NODE の LAN 端子に接続してください。
- 15 USB 入力(タイプ A)** USB 入力に USB マスストレージ・デバイスを接続します。NODE と互換性のある一般的な USB マスストレージ・デバイスには、ポータブル・フラッシュメモリー・デバイスや外付けハードドライブ(FAT32 フォーマットしたもの)などがあります。
- 15 USB 出力(タイプ A)** NODE は、USB Type-A 端子を介して外部 DAC にデジタルオーディオ(USB Audio 2.0)を転送することができます。USB ケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE の USB 出力に、もう一方の端を外部 DAC デバイスの対応する USB 入力に接続してください。BluOS アプリの NODE のオーディオ設定ページで USB DAC を選択し、NODE の内蔵 DAC を USB オーディオ出力経路でバイパスします。*この機能は、将来の BluOS ソフトウェア・アップデートで利用可能になる予定です。
- 16 HDMI eARC** HDMI ケーブル(市販品)を使用して、一方の端を NODE の eARC 入力に、もう一方の端をテレビの ARC 対応の HDMI 出力に接続してください。テレビの設定で ARC を有効にする必要がある場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。BluOS アプリでは、ソースが HDMI ARC として表示されます。現在サポートされているのは PCM オーディオ再生のみです。
- 17 電源入力** 付属の電源コードのプラグを壁のコンセントに接続する前に、もう一方の端を NODE の電源入力ソケットにしっかりと接続してください。NODE の電源入力ソケットからケーブルを取り外す前に、必ず壁のコンセントからプラグを取り外してください。

ご注意！

これは、プレーヤーのファクトリーリセットです。Wi-Fi ネットワークの設定、ファイル共有、保存されたプレイリストを含む、すべてのカスタマイズは失われます。リセットが完了したら、これらを再作成する必要があります。このプロセスは、プレーヤーが機能せず、インターネットによるファームウェアのアップグレードが失敗した場合にのみ推奨されます。ご質問やご不明な点がございましたら、お手続きの前に BLUESOUND の正規販売店までお問い合わせください。

ファクトリーリセットの手順

1. 本機の電源を切ります。
2. 30 秒待ちます。
3. 電源を再接続します。
4. LED が赤になったら、再生/一時停止ボタンを長押しします。LED はすぐに緑に変わり、その後、赤に戻ります - そのまま 30 秒間ボタンを押し続けてください
5. 30 秒後、LED が赤に点滅し始めたら、ボタンを離してください。
6. Bluesound プレーヤーのカスタマイズがすべて解除され、工場出荷時の設定に戻ります。

重要: LED が赤く点滅し始める前に、再生/一時停止ボタンから指を離すと、ファクトリーリセットがキャンセルされ、プレーヤーはアップグレードモードになります。この場合は、再度ファクトリーリセットの手順を開始してください。

プレーヤーがホットスポットモード(ワイヤレス接続の場合、LED は緑に点灯します)に戻れば、ファクトリーリセットは成功です。プレーヤーが有線のイーサネット接続でネットワークに接続されている場合は、新しいプレーヤーと同様に接続されます(LED が青く点灯します)。

BLUESOUND®

©Bluesound International. Bluesound、スタイル化されたワードマークと「B」のロゴタイプ、「HiFi for a wireless generation」というフレーズ、NODE、その他すべての Bluesound 製品の名称とタグラインは、Lenbrook Industries Limited の一部門である Bluesound International の商標または登録商標です。その他のすべてのロゴやサービスは、それぞれの所有者の商標またはサービスマークです。